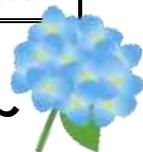


自主した学び手となる

大町市立仁科台中学校 学校だより No.3 令和4年6月15日(水)発行



一人ひとりの人権感覚を磨く～人権教育月間～

6月8日(水)から29日(水)は人権教育月間として、人権にかかわる大事な学習が進められます。目標は、「一人ひとりの人権感覚を磨き、あらゆる差別をなくす意欲と実践力を身につける」ことです。先週は、人権教育月間に先立ち、校長講話が行われました。校名の由来や「仁」の成り立ち、校章の由来等にふれながら、仁科台中学校での生活の中にある「仁」の心の意味や大切さについてお話がありました(以下参照)。

校長講話「仁」(抜粋)



今日は「仁」についてお話したいと思います。「仁」は、体育館の左上に大きな額が掲げられています。これは、50周年の折に、寄贈されたものです。

皆さんも、すでにご存じだと思いますが、仁科台中学校の校名の由来は次のようです。

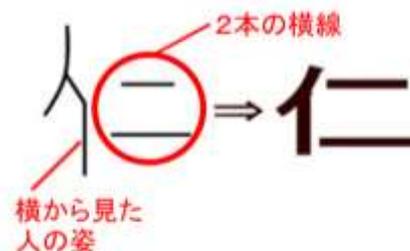
大町に新しく中学校をつくる話ができたとのことです。新第二中学校は、「明治の学制発布により、大町の地に最初に創設された学校が『仁科学校』であり、仁科中学校に台の字を加えて、「仁科台中学校」となりました。「一中」に対して

「仁(に)中」という呼び方もできるという意見もありました。また仁科の名は、長い伝統と豊かな文化の地であり、地域の人々の誇りでありました。

そこで、「仁」という字の意味です。成り立ちは、人と二を合わせた字です。二人の人が礼節をわきまえて親しむこと。人が温かい敷物の上に座る姿ともいわれ、転じて「いつくしむ」「思いやる」の意味になりました。

次に『論語』から「仁」の大切さを説いた孔子の言葉を紹介します。

「人にして仁あらずんば、礼をいかにせん。人にして仁あらずんば、楽(がく)をいかにせん。」…相手を思いやる気持ちがなければ、「礼」は形だけのものになり、音楽も心に響かないということです。すべては「仁」が基本であるということを行っています。



学校生活の基本は、生徒も先生たちも「命・人権を大切にすること」「差別をしてはいけないこと」「悪いことをしないこと」です。人を差別する心を完全に消し去ることはできないかもしれませんが、そのことを意識すれば、差別をしないことは誰にもできます。

差別とは、人をいじめること、仲間外れにすること、ばかにすることです。これは、人として許されない行為です。友だちを呼ぶときに、あだ名を禁止して、さんづけをルールにしている小学校が増えていくというニュースがありました。本校の先生方も、基本的に生徒のみなさんを、くん、さん、で呼ぶようにしています。大事なことは、その人を敬う気持ちや大事にする気持ちを持つこと、その人の嫌がる呼び方をしない、ということ、人の嫌がることをしない、ということです。

人としての基本ルールをよりよい人間関係に応用することができます。自分がされてうれしかったことをする、言葉にする ことです。さらにいいこと(上級ルール)は、その人が、してほしいことをする、言葉にする ことです。例えば、相手の人に喜んでもらえると思った言葉やプレゼントでも、相手の人にとってはうれしくないことがあります。相手の人が喜ぶ言葉やプレゼントを贈るためには、相手

をよく理解することが大切です。そのためには、相手の話をよく聴いたり、よく理解したりすることが必要になります。これは、よりよい人間関係を築くために必要なことです。

「仁」の心



自分の命を守り、
お互いの命や存在を大事にし、
安心・安全な学校生活を送る責任。

「仁」の心を大切にすること。

これが「仁」人を思いやる気持ちです。

最後に、仁科台中学校の校章にも「仁」が表されています。私たちは、自分の命を守り、お互いの命や存在を大事にし、安心・安全な学校生活を送る責任があります。

これからも「仁」の心を大切に、仁科台中学校での生活をしていきましょう。

中体連大会に向けて ~壮行会が行われました~

6月4日(土)の中信陸上大会を皮切りに、今年度の中学校体育連盟主催の公式大会が始まりました。6月3日(金)には全校で壮行会が行われ、出場する選手の皆さんを激励しました。特に3年生にとっては、節目となる大会となります。これまでの練習の成果を“発表する場”としての大会で、力を発揮し、悔いのない大会にしてください。中信大会は6月26日(日)まで続きます。全生徒・全職員で出場選手・チームの皆さんの健闘を祈っています。ファイト仁中!!



6/3 壮行会での激励



壮行会にのぞむ選手団



6/11 卓球 第一中会場



6/11 バスケットボール仁科台中会場

お知らせ

仁科台中学校ホームページへは、右のQRコードからお入りください。
年間行事計画、月暦、スクールバス時刻表、学校だより等ご活用ください。
なお、「限定公開記事」の利用についての詳細は、後日お知らせする予定です。

仁科台中 HP



担当 柳澤 誠 (教頭)